

2026年度 お茶の水女子大学大学院
人間文化創成科学研究科（博士前期課程）

ジェンダー社会科学専攻

一般入試・社会人特別入試・外国人留学生入試

専 門 試 験

試 験 日 : 2026年 2月 2日(月)

試 験 時 間 : 9時30分 ~ 11時30分

【注意事項】

1. 問1、問2、問3のうち、2問を選んで解答しなさい。
2. 設問ごとにそれぞれ別の答案用紙に解答を記入すること。
3. 日本語で解答すること。

問1

トマ・ピケティ著『21世紀の資本』の図9-2(328頁)と図9-3(330頁)を参考にし、以下の(1)～(3)の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承願います。

出典：トマ・ピケティ、山形浩生・守岡桜・森本正史訳、2014年、『21世紀の資本』みすず書房、328頁、330頁。

(1) 図9-2と図9-3は具体的に何を示しているか、説明しなさい。

(2) 1980年代以降、図9-3の国々よりも図9-2の国々で、トップ百分位（トップ1%）が総所得に占めるシェアが急速に拡大した主な要因について論じなさい。また、両図の国々においてトップ百分位が総所得に占めるシェアの拡大をもたらした共通の要因について述べなさい。

(3) 所得格差の拡大に対してどのような有効な施策があり得るか、政策的論拠を示しながら論じなさい。

問2

次の文章は、ナチ党（国民社会主義ドイツ労働者党）の思想をめぐる書籍の一節である。これを読んで、（1）と（2）の問いに答えなさい。

この部分に記載されている文章については、
著作権法上の問題から掲載することが
できませんので、ご了承ください。

出典：小野寺拓也・田野大輔、2023年、『検証 ナチスは「良いこと」もしたのか？』岩波書店、14-15頁より抜粋、一部改変。

(1) 本文中の「民族共同体」は、どのような点で問題を孕んでいるのかを、現代の国内外における事例を挙げながら論じなさい。

(2) 現代における国内外の具体的な地域を挙げながら、本文中で述べられているような「民族共同体」の考え方が空間・地域面でどのように発現されるのかについて論じなさい。

問3

近年、多様性のある議会をめざして、女性や性的マイノリティ、民族的マイノリティなど、従来過少代表だった人々の政治参加を拡大しようとする動きがある。女性やマイノリティといっても、階級、民族、セクシュアリティ、障害の有無など、多様な属性が交差している。このため、「女性代表」や「マイノリティ代表」というカテゴリー自体が、ある人々を不可視化してしまう危険性を孕んでいる。インターセクショナルリティ（交差性）の視点から、民主主義における代表制について、(1)～(3)の問いに答えなさい。

(1) 「女性は女性に代表されるべき」という単純な図式が抱える問題点について論じなさい。

(2) それでもなお、ジェンダーやマイノリティ属性を共有する代表が必要とされる場面はどのような状況なのか論じなさい。

(3) インターセクショナルな不平等を可視化し、是正するためにどのような代表の仕組み・実践が考えられるか述べなさい。